

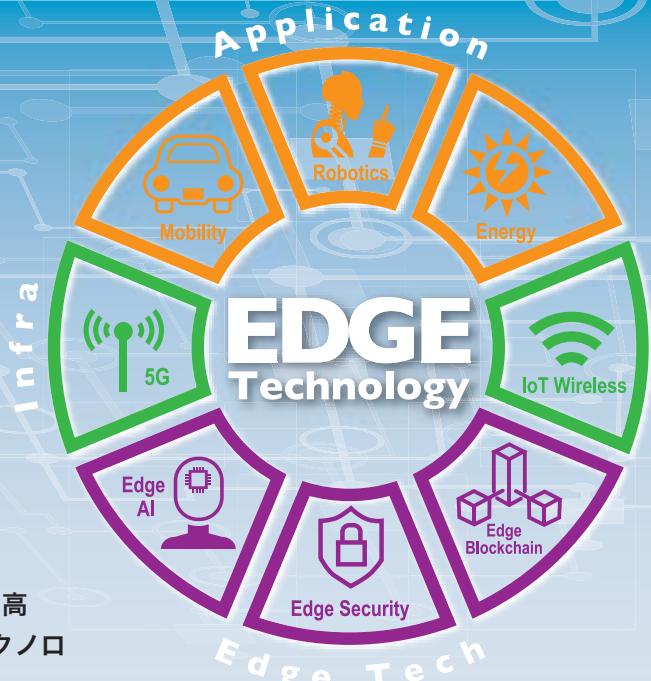
“スマート社会を実現するエッジテクノロジー総合展”

11月20日より開催



エッジの最先端を体験

協会が主催する組込み・IoT総合技術展「Embedded Technology 2019/IoT Technology 2019」が11月20日にパシフィコ横浜で開幕する。前回（2018年）、これからのIoTのキーテクノロジーである「エッジテクノロジー」にフォーカスをあて、最先端情報を一望できる“エッジテクノロジー総合展”へと進化した。今回が“2回目”となるが、IoTはクラウドからエッジ（現場）へのシフトがさらに加速しつつあり、注目度はより高まっている。ここでは新たな注目ポイントを取り上げ、エッジテクノロジー総合展としての魅力をお伝えする。



技術視点にマーケット視点を加え、重要となるテーマを追求

いよいよ5G（第5世代移動通信システム）の時代が目前となった。通信速度が格段に上がり、4Gで10msとされる遅延が1msにまで改善されるなどの体感的な面だけではなく、“これまで不可能だったことが可能になる”未来が見えてきた。今回はそんな5Gの世界も背景に、「エッジAI」「エッジ・セキュリティ」「エッジ・ブロックチェーン」といったテクノロジーレイヤー、およびMaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）から生み出される新たなサービスへの期待も大きい「モビリティ」、5Gでサービスの拡大が見込まれる「ロボティクス」、ブロックチェーンによる新しいビジネスモデルが活発化する「エネルギー」といったドメインレイヤーを通じ、エッジがもたらす新しい社会、暮らしが体験できる展示会となる。

基調講演+デモで最先端テクノロジーを体験

前回「主催者テーマパビリオン」として、

基調講演のテーマと連動しトレンド技術を体験いただいた企画パビリオンが今回、「Future Design Pavilion」としてパワーアップする。参加企業は通常の出展者とは異なり、先進的なソリューション、サービスを備えたメーカーやサービス企業で、スマート社会の実現に大きく貢献する企業といえるところ。来場者には、一足先にエッジによって実現される未来社会が体験できるものとなる。参加企業とテーマ、デモ内容を次に示す。

【モビリティ】

デンソー：Connected技術について自動運転EV「e-Pallet」を展示し最先端を紹介

SBドライブ：自動運転シャトルバス



SBドライブ 自動運転シャトルバス「NAVYA ARMA」

「NAVYA ARMA」で自立走行技術の最先端をデモ

【エネルギー】

Tesla Motors Japan：家庭用/業務用蓄電池や最新の電気自動車を通して、持続可能エネルギーの可能性を探る

【エッジ・AI】

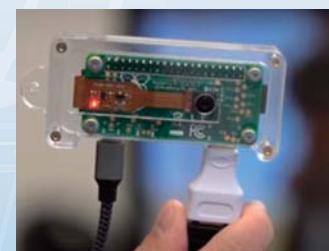
Idein：“実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるように”を目指すIoTプラットフォーム「Actcast（アクトキャスト）」

【エッジ・セキュリティ】

綜合警備保障(ALSOK)：2020年向けてAI・4K・5Gを活用した警備サービス

【AI・ロボティクス】

DeepX：先端人工知能技術を活用し、自



IdeinのIoTプラットフォーム「Actcast」



年々盛り上がりを見せる好評の併催イベント。今回も会期中にわたり実施される。

- ①ET/IoT Technologyアワード
- ②ET/IoT Technologyフェスタ
- ③ETロボコンチャンピオンシップ大会
- ④IoTイノベーションチャレンジ

＜展示会概要＞

会期：2019年11月20日（水）～22日（金）

会場：パシフィコ横浜

展示会規模（予定）：410社・団体 / 820小間

来場者数（予定）：28,000名

カンファレンス規模（予定）：約120セッション

公式サイトURL：<http://www.jasa.or.jp/expo/>

動化が困難とされた作業等で自動化を実現した開発デモ

【ローカル5G】

クアルコムジャパン：ローカル5Gについて、実証実験の結果を交えて紹介

次代の主役・スタートアップ企業とのマッチングを促進

加速するオープンイノベーションの担い手として期待が高まるスタートアップ企業にスポットをあてた「**スタートアップ・パビリオン**」を開設する。こちらも前回「スタートアップ&グローバル・パビリオン」として好評を得た企画パビリオンで、顔ぶれも新たなスタートアップ企業が集まる。**東京大学TLO**、**TXアントレプレナーパートナーズ**、**DMM.make**、**台湾InnoVEX**を中心に約50社のスタートアップ企業が集合する予定で、各社自慢の技術、ソリューションを展示紹介する。

また、ピッチイベントを模したショートスピーチは今回も実施。1社5分の短い持ち時間内に自社の技術、製品を売り込むもので、特にビジネス領域の拡大にサポートナーを求める企業には必見だろう。



注目が集まったスタートアップパビリオン

オープンCPUに特化したパビリオンを新設

昨今、開発市場で大きなインパクトをもたらした話題と言えば、オープンソースの命

令セット・アーキテクチャであるRISC-Vだろう。本誌でも先の4月発行号で特集したが（vol.69【特集RISC-V】）ハードだってオープンソース、パラダイムシフトを牽引する新世代プロセッサー「RISC-V」*）、マーケットに与えた衝撃は大きく、多くのメジャー企業がその開発に着手している。MIPSやPOWERといった主要アーキテクチャもIP（設計情報）の無償公開に動くなどCPUのオープン化の流れが続いている。

そうした動向をキャッチアップし、新たに「**オープンCPUアーキテクチャパビリオン**」を開設する。台湾や日本からRISC-V関連企業が集い、オープンCPUアーキテクチャの最新動向が俯瞰できるゾーンになる予定なので、ぜひ注目いただきたい。

*記事はこちらで読めます。（PDF）
https://www.jasa.or.jp/TOP/download/bulletin-jasa/BJ69_RISC-V.pdf

業界課題の解消の一助に。

学生・教育者対象の新企画を開催

業界全体の大きな課題となるのが技術者育成であり、本展でもテーマのひとつに掲げ、業界セミナーや若手技術者によるプログラムや新たなビジネス創出を前提としたコンテストなどを実施している。今回はさらに拡充を図り、業界セミナーの受講とブース見学をセットにした「**エンベデッドキャンパス**」を企画した。学生や学校関係者に業界の魅力を紹介するもので、若手人材育成や業界に対する興味の醸成を目的とするものだ。

例年好評のJASAセミナー「JASA業界研究セミナー」を受講後、主要ブースをめぐる見学ツアーを組み、出展企業の最新エッジテクノロジーを体験いただくものとなる。

併催イベントとして行う、技者育成型コンテストのETロボコンチャンピオンシップ大



講演会場は今年も満席が予想される

会、IoTイノベーションチャレンジも年々盛り上がりを見せるなか、エンベデッドキャンパスも広く認知され定着していくことを目指す。

基調講演はエッジテクノロジーの現状と未来を7テーマに集約し展望

今回の基調講演では、モビリティ、エネルギー、ローカル5G、ブロックチェーンなど7つのテーマで、エッジテクノロジーの現状と未来を展望する。先にふれたFuture Design Pavilionの参加企業による講演に加え、インテル、日本電気、ランドログ、関西電力、アステリアの各企業が登壇する。

また定番となった東洋大学 INIAD（情報連携学部）教授/学部長の坂村健氏は「5G時代のIoT」と題した講演を、経済産業省による講演は商務情報政策局 情報産業課課長の菊川人吾氏が登壇、業界の課題と政策展開について語る。

JASAでは、業界研究セミナーのほか、海外のマーケットや協業をテーマとしたグローバルフォーラム、技術本部委員会、WGの成果発表を中心としたSafety & Securityセミナー、IoTパネルディスカッション、技術本部セミナーを実施する。

カンファレンスはすべて聴講無料（事前登録制）、登録は公式サイトで受け付けている。満席となり次第締め切るため、来場登録とあわせ早めの登録をお願いしたい。